

## 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

|           |  |              |  |        |
|-----------|--|--------------|--|--------|
| 代表者名      | 城取清之助 (非常勤)  | 所管部(局)課      | 農林水産部 漁政課  |        |
| 所在地       | 土浦市小松1-21-9  | 電話番号         | 029-821-6388   |        |
| ホームページURL |  | E-mailアドレス   | <a href="mailto:ksgyoren@beach.ocn.ne.jp">ksgyoren@beach.ocn.ne.jp</a> |        |
| 資本金(基本財産) | 10,500 千円  | 設立年月日        | 昭和55年7月22日   |        |
| 主な出資者     | 出資順位   | 出資者名         | 出資額  | 出資比率   |
|           | 1  | 霞ヶ浦漁業協同組合連合会 | 7,000 千円   | 66.7 % |
|           | 2  | 茨城県          | 3,500 千円   | 33.3 % |
|           | 3  |              | 千円   | 0.0 %  |
|           | 4  |              | 千円   | 0.0 %  |
|           | 5  |              | 千円   | 0.0 %  |
|           | その他  | 団体           | 千円   | 0.0 %  |
| 設立的       | 国営高浜入干拓事業による干拓予定水面のため、漁場環境が荒廃化していた霞ヶ浦の漁場環境改善と、漁業生産力の増強を図り、漁業及び漁協経営の体質強化と地位向上に寄与することを目的とし、県及び地元漁協の連合体である霞ヶ浦漁業協同組合連合会とが共同して設立。 |              |  |        |

[事業の概要]

| 事業名  | 平成16年度事業費 | 内容  |
|--|-----------|---|
| 事業1<br>委託事業<br>1. 漁場環境回復対策<br>2. 漁業資源維持培養<br>3. 漁業秩序維持対策 | 2,700 千円  | 1. 漁場清掃や漁場保護の為に境界目印の設置を行い、環境を回復させる。<br>2. 主要魚種(わかさぎ等)の移植放流・人工ふ化放流を実施し、漁業資源の維持培養をはかる。<br>3. 違反操業の未然防止や漁業操業指導の座談会等を開催し、漁業秩序維持確立をはかる。                      |
| 事業2<br>助成事業<br>1. 漁業近代化施設<br>2. 漁村振興対策<br>3. 漁協育成強化対策    | 2,900 千円  | 1. ホイスト・漁船巻上げ機等設備の充実強化をはかる。<br>2. 漁港船溜り内の清掃・トラブル防止の為にフェンス設置等の環境整備、淡水魚消費拡大のため各種イベントに参加新商品の試食・配付を行う。<br>3. 漁協役職員のレベルアップの講習・研修会の実施、最新事務機器の導入等による事務近代化をはかる。 |
| 事業3  | 千円        |   |

[組織]

| 7月1日現在の人数   | 平成14年 |     |     | 平成15年 |     |      | 平成16年  |     |   |
|-------------|-------|-----|-----|-------|-----|------|--------|-----|---|
|             | 県派遣   | 県OB |     | 県派遣   | 県OB |      | 県派遣    | 県OB |   |
| 役員          | 常勤理事  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
|             | 非常勤理事 | 12  | 0   | 0     | 10  | 0    | 0      | 10  | 0 |
|             | 常勤監事  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
|             | 非常勤監事 | 3   | 0   | 0     | 2   | 0    | 0      | 2   | 0 |
|             | 計     | 15  | 0   | 0     | 12  | 0    | 0      | 12  | 0 |
| 職員          | 管理職   | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
|             | 一般職   | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
|             | 臨時職員  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
|             | 嘱託職員  | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
|             | 計     | 0   | 0   | 0     | 0   | 0    | 0      | 0   | 0 |
| 当期常勤職員の年齢構成 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代以上 | 合計  | 平均年齢 | 平均勤続年数 |     |   |
|             |       |     |     |       | 0   | 歳 月  | 年 月    |     |   |

## [収支の状況]

財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

(単位:千円)

| 区 分                   |           | 平成13年度  | 平成14年度  | 平成15年度  |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 収<br>支<br>の<br>状<br>況 | 収入合計      | 572     | 108     | 62      |
|                       | 事業収入      | 0       | 0       | 0       |
|                       | 事業外収入     | 572     | 108     | 62      |
|                       | 支出合計      | 6,552   | 4,709   | 6,342   |
|                       | 事業支出      | 3,100   | 1,250   | 3,186   |
|                       | 事業外支出     | 3,452   | 3,459   | 3,156   |
|                       | うち管理費     | 2,662   | 2,689   | 2,436   |
|                       | うち人件費     | 750     | 750     | 700     |
|                       | 当期収支差額    | -5,980  | -4,601  | -6,280  |
|                       | 正味財産増加額   | -5,980  | -4,601  | -6,280  |
|                       | 正味財産減少額   | 0       | 0       | 0       |
|                       | 当期正味財産増減額 | -5,980  | -4,601  | -6,280  |
|                       | 前期繰越正味財産  | 302,846 | 296,866 | 292,265 |
| 期末正味財産                | 296,866   | 292,265 | 285,985 |         |
| 財<br>産<br>の<br>状<br>況 | 資産        | 304,552 | 299,951 | 289,985 |
|                       | 流動資産      | 294,052 | 289,451 | 279,485 |
|                       | 固定資産      | 10,500  | 10,500  | 10,500  |
|                       | 負債        | 7,686   | 7,686   | 4,000   |
|                       | 流動負債      | 7,686   | 7,686   | 4,000   |
|                       | うち短期借入金   | 0       | 0       | 0       |
|                       | 固定負債      | 0       | 0       | 0       |
|                       | うち長期借入金   | 0       | 0       | 0       |
| 正味財産                  | 296,866   | 292,265 | 285,985 |         |

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

| 区 分                        |             | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 |
|----------------------------|-------------|--------|--------|--------|
| 財<br>的<br>関<br>与<br>状<br>況 | 補助金         | 0      | 0      | 0      |
|                            | 委託金         | 0      | 0      | 0      |
|                            | 貸付金         |        |        |        |
|                            | 計           | 0      | 0      | 0      |
|                            | 財政的関与の割合(%) | 0%     | 0%     | 0%     |
|                            | 損失補償・債務保証   |        |        |        |

## [平成15年度の補助金等の目的・内容等]

| 支 出 項 目 | 目 的 ・ 内 容 ・ 効 果 |
|---------|-----------------|
| 補助金     | 該当なし            |
| 委託金     | 該当なし            |
| 貸付金     | 該当なし            |

[評点集計]

| 評価の視点    | 評価項目数 | 評点 | 満点 | 得点率   |
|----------|-------|----|----|-------|
| 計画性      | 4     | 0  | 8  | 0.0%  |
| 目的適合性    | 5     | 1  | 14 | 7.1%  |
| 組織運営の適正性 | 4     | 1  | 8  | 12.5% |
| 健全性      | 10    | 11 | 36 | 30.6% |
| 効率性      | 1     | 0  | 8  | 0.0%  |
| 合計       | 24    | 13 | 74 | 17.6% |

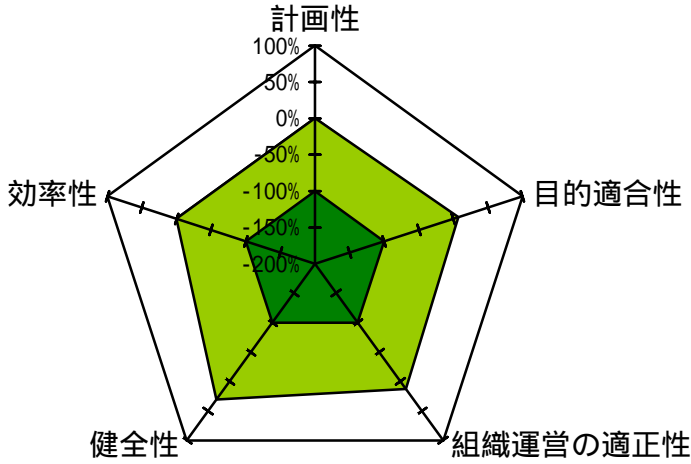
公益法人会計用

財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

警戒指標

|  |
|--|
|  |
|--|

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

|          |   |
|----------|---|
| 計画性      | 経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか           |
| 目的適合性    | 法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか                      |
| 組織運営の適正性 | 組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か |
| 健全性      | 法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか                |
| 効率性      | 組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか               |

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

|             |   |
|-------------|---|
| 取組みを強化すべき視点 | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>  |
| 総合的所見等      | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>基金を取り崩しながら、霞ヶ浦沿岸の漁業協同組合に対する補助事業等を実施しているが、ここ数年、計画に見合った事業を実施することが出来ず、漁業関係者のニーズの把握が十分になされていない状況である。</p> <p>霞ヶ浦の漁業は、水産資源の減少やコイヘルペスによる影響などにより、危機的な状況にあることから、当協会と霞ヶ浦漁業協同組合連合会が一丸となり、基金の有効な活用を図る必要がある。</p> <p>なお、霞ヶ浦漁業協同組合連合会への事務委託費については、減額見直しがなされているものの、事業量に比して十分とはいえないことから、更なる見直しを図る必要がある。</p> |
| 総合的所見等に係る対応 | <p>霞ヶ浦漁業協同組合連合会との連携を強化し、地元漁業者のニーズを的確に汲み上げ、霞ヶ浦の漁業振興に有効な事業量を十分確保し、計画的な事業の推進に努めとともに、事務委託費については事務の効率化を指導する。</p>   |

< 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会 から県民のみなさまへ >

霞ヶ浦の漁業は、ワカサギ等有用在来種が減少する一方、漁場環境の悪化や外来魚が繁殖するなど、危機的な状況にあります。このような中、当基金協会は、主要魚種の放流事業やその他の各種の事業を実施してまいりましたが、残念ながら十分な成果が現れている状況にありません。

当基金協会としては、設立の原点に立ち返り、事業計画の大幅な見直しを含め、地元漁業関係者のニーズを的確に把握し、霞ヶ浦の漁業振興により有効な事業を計画的に実施してゆきたいと考えています。

国内2番目に大きな湖である霞ヶ浦の漁業再生は、周辺を含めた漁場環境の回復なくしてはあり得ません。県民の皆様にも、自然環境の保護につきまして、ご配慮いただけますようお願いいたします。

平成17年2月 霞ヶ浦漁業振興基金協会理事長 城取 清之助

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

| 計画性   | 目的適合性  | 組織運営の適正性  | 健全性   | 効率性                      |
|---|--|---|---|--------------------------|
| 国営高浜入干拓事業収束に伴い、立ち遅れている漁場回復と漁業生産力の増強を図るため、各種事業に対し支援している。 | 同左の通り、事業を実施している。   | 職員を置かず、事務委託により管理費の削減に努めているが、更なる削減のため委託費の低減や、適正な運営を図ってゆくため、評議員会の設立を検討している。 | 財務上借入金も無く、特に問題は無い。今後は、基金の運用について、安全でより有利な運用を検討したい。 | 事務委託費の減額など、管理費の削減に努めている。 |
| 今後の事業展開の方向  | 霞ヶ浦の主要魚種の漁獲量は、周辺地域の急激な人口増加による環境の大幅な変化や外来魚の繁殖等により、年々減少し漁業経営も厳しい状況が続いている。当協会においてもこの様な状況を改善すべく、実施事業の範囲内において漁業生産力の増強、漁業経営の安定をはかるため、新規事業の導入を検討しながら事業を進めていく。なお、当協会は収益事業を行わず、基金を取り崩しながら各種事業を行っているため、今後も事業管理費の削減に努力しながら運営を進めていく。 |   |   |                          |

[法人を担当する課の意見]

| 計画性  | 目的適合性  | 組織運営の適正性                         | 健全性  | 効率性  |
|--|--|----------------------------------|--|--|
| 霞ヶ浦の漁業は依然低迷しており、現場の状況を十分把握し、中長期計画や年次計画に沿った各種事業を確実に実施してゆく必要がある。 | 目的に沿った事業を実施しているが、達成度が低い。そのため計画的な事業の執行に努力するとともに、新規事業の導入を進めるため、漁業者の要望を迅速に把握するシステム構築する必要がある。  | 財団運営の適正化を図るため評議員会を速やかに設置する必要がある。 | 収益事業を行わず、基金の取り崩しのみであるので、安全で有利な金融商品等を検討する必要がある。 | 16年度において、事務委託費を25%削減するなど、一定の改善が見られる。今後は、漁連への委託費のさらなる見直しを検討する必要がある。 |
| 第三次行財政改革大綱に係る取組状況  | 推進事項   |                                  | 取組み状況  |  |
|  |  |                                  |  |  |
| 法人担当課の意見   | <p>当該法人は、霞ヶ浦の漁業生産力の増強及び漁業経営の安定のため、関係漁業協同組合が行う各種事業に対して助成を行っている。当協会の収入は預金利息のみであり、収益事業は行わず、基金を取り崩しながら各種事業に当たっている。</p> <p>霞ヶ浦の漁業者は、水産資源の減少や、平成15年10月に発生したコイヘルペスウイルス病による影響により、これまでにない厳しい経営を強いられており、当協会の担う役割は益々重要になるものと思慮される。</p> <p>当協会では、役員の数減らすとともに、委託費も見直すなど経費節減の努力は認められるが、反面、水産資源の増大などの設立目的の事業量は十分といえない。今後は、今まで以上に事務委託している霞ヶ浦漁連と連携を強め、関係漁業者のニーズを積極的に汲み上げ、計画的に事業を進めてゆく必要がある。</p> |                                  |  |  |